

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年3月13日
学校法人神明の杜 神明幼稚園

1. 本園の教育目標

「あそびこむ」を園のテーマとし、幼稚園での日々の「遊びと生活」を通じて幼児期の発達段階に相応しい経験を幼児に提供することによって、以下の6つの具体的目標を達成することを目指す。

1. 日々の生活と発達段階に相応しい活動を通じて、健康な心と身体を育てる。
2. 保育者との信頼関係を土台に周囲の仲間と関係を築き、集団の中で自分を発揮する力を育てる。
3. 日々の生活と遊びの中の多様な経験の積み重ねを土台に、自分で問題を解決する力の基礎を育てる。
4. 言葉で思いを伝え、他者の言葉を聞く意欲や態度を育てる。
5. 音楽や造形、劇遊びなどの多様な活動を通じて豊かな感性と創造力を育てる。
6. 神明さまに見守られて日々を過ごし、感謝する心を育てる。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

1. 「色であそぼう～まざって、ぬって、かいて～」をテーマとして掲げ、各学年で年間を通じて造形講師・荒野真司氏と共に造形活動を行う。
2. ホッケー遊びの活動を通じて、ルールのある遊びを楽しむ、仲間と協働することを楽しむ、うまくいって楽しい・うなずかなくて悔しいという思いを味わう、等の経験をする。
3. 作業療法士と協働し、特別な支援を必要とする幼児により適切な対応をする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

1. 色であそぼう～まざって、ぬって、かいて～

評価項目	評価	取り組み状況
幼児が主体的で豊かな経験をすることができたか	A	少人数のグループで行ない、造形講師や保育者と「きれいだね」「まざったね」等の言葉を子どもたちから引き出すように工夫した。
個々の幼児の特性に応じた対応ができたか	B	少人数のグループにすることである程度は個々に応じた対応ができた。
幼児の成長と課題を保護者と共有できたか	A	3学期の活動の成果物を劇遊びの発表会の大きな壁面にしたことは保護者と共有する上でよかった。

2. ホッケーあそび

評価項目	評価	取り組み状況
幼児が主体的で豊かな経験をすることができたか	A	年中年長では名前を呼び、ゆっくり・強く等の言葉をかけてパスする活動を行ない、対人スキルの向上をはかった。
個々の幼児の特性に応じた対応ができたか	B	年少では頭の上にスティックを乗せてバランスを取るなどの遊びを取り入れ、発達段階に応じた活動内容にした。
幼児の成長と課題を保護者と共有できたか	A	動画を撮って保護者会で見せることで、子どもたちのようすを生き生きと共有することができた。

4. 学校関係者評価委員会の評価

自己評価をもとに、今年度重点的に取り組んだ2つの活動について、評議員からなる学校関係者評価委員会で評価を行い、以下の評価をいただいた。

- 「色に注目した造形あそび」については、小学校以上では図工・音楽・体育などの専科の教員がいることが普通であるが、幼稚園ではなかなかそこまでできない中で、専門的な知見や技術を持つ造形講師を年間を通じて配置していることをまず評価していただいた。幼児期に様々な具体的な経験をすることは幼児の育ちにとって大切であり、幼稚園でこうした活動を行うことはたいへん良いという評価をいただいた。
- 「ホッケーあそび」については、昨年度から継続した活動であり、小学校以上で不登校が増えていることが大きな問題になっているが、そうしたことへの解決策にもなるのではないかという評価をいただいた。

以上